

秋田人変身力会議 第3期(22年度)事業報告

第3期(22/7~23/6)の事業活動を、第3回定時総会で承認された事業計画に従ってご報告いたします。

1. 会員数150名を目標に組織の増強を図る。
6月末時点の会員数は、111名(入会15名、退会17名)と結果的には21年度と比較して2名減らすことになってしまった。次葉の活動記録にあるとおり、研究会参加者は延べ410名と昨年度(630名)比35%減ではあるが、会員以外の参加者が70%であることを勘案すると、会員以外の参加者を入会にまで持って行けなかったことは、力量不足を反省せざるを得ない。
2. 連携組織の協力を得て年間6回の「変身力研究会」を開催する。
活動記録のとおり年7回の研究会を開催した。特に一昨年度から提言している「医療立県」と「秋田への移住促進」については、再度研究会を開催した。「医療立県」については、提唱者である工藤教授との提携がうまく行かず、現状活動は休止状態にある。
「移住」については、県の支援のもと「ようこそ秋田移住促進会議」の設立に繋がり、移住事業は事業に乗りつつある。
なお、研究会への会員の参加率は30%前後であり、会員の減少要因とも考えられるので、研究会のテーマや開催時間帯等も再検討のことといたしたい。
3. 「変身大賞」の活性化
変身大賞については、県民の認知度向上を目指して県及びマスコミ等の後援を得ることとしていたが、時間的な関係から実現しなかったため、来年度の課題としたい。
また、選考方法については、事前審査制を導入し選考基準の水準維持に努めた。
4. ホームページの活性化
広く会員の意見をブログ「変身あれこれ」で発表してもらうこととしていたが、前半は原稿が集まらなかったこともあり低調であったが、後半は予定どおり掲載出来た。

第3期（22年度）活動記録

(1) 総会・研究会

開催日	テーマ・講師等	場 所	出席者数
22.07.23	第3回定時総会及び変身大賞表彰式 フォーラム「秋田で元気に！私の提言」 パネラー：受賞者3名	協働大町ビル	30名
22.08.10	「秋田の木材パワーで木製飛行機製造を」 講師：ナビコムアビエーション(株) 営業部長 伊藤 博基 氏	秋田北空港ふ れあい緑地セ ンター	60名
22.09.04	フォーラム「医療立県～世界から秋田へ」 パネラー：工藤昭和大学教授他3名 コーディネーター：森園国際教養大学教授	秋田市文化会 館小ホール	75名
22.11.26	フォーラム「仕事と子育てが両立できる 職場を目指して」 講師：佐藤少子化対策推進監 パネラー：佐藤少子化対策推進監他4名 コーディネーター：渡辺秋田魁新報社 文化部次長	秋田市文化会 館大会議室	75名
22.12.22	「地域政党ってなんだ？岩手に見る新たな 政治の潮流」 講師：吉田けい子岩手県議会議員	アルヴェ	40名
23.03.06	「秋田県移住促進フォーラム」 基調講演：高橋ふるさと回帰支援センター 専務理事 パネラー：移住者5名 コーディネーター：荒谷会長	ルポールみず ほ	45名
23.06.08	フォーラム「新県議会議員と語る秋田の 将来」 パネラー：新県議会議員5名 コーディネーター：荒谷会長	秋田市文化会 館大会議室	85名

幹事会1回（23.06.24）第4回定時総会について及び第3回変身大賞審査会

四役会議1回（22.10.05）下半期の事業計画